

# 国政に続き、市政でも 日本共産党1→2議席に伸ばして **くらしを守る力 大きく**

昨年12月の衆議院選挙で日本共産党は大きく前進しました。新しい国会での共産党議員の質問に大きな反響が寄せられています。今度は市政です。日本共産党が2議席になれば、市民のみなさんの願いを実現する力が大きくなります。ごいっしょに、くらし第一の市政へ変えましょう。

## 市民の願い実現へ全力でがんばります

### ■国保料の一世帯1万円の引下げ

「払いたくても払えない」と悲鳴があがる国保料。負担軽減に力を尽くします。「ためこみ金」の一部を使えば引き下げられます。

### ■子どもの医療費助成を高校卒業まで

常陸太田市や大子町ではすでに高校卒業まで実施。子育てや少子化の対策としても有効です。

### ■介護保険料、利用料の値上げストップ

「保険料が上がってもサービスは下がる」「私たち低所得者には利用できない」…市民の率直な声です。安心して利用できる介護制度をつくります。

### ■住宅リフォーム助成の実現

すでに高萩市・北茨城市・常陸大宮市など多くの自治体で実施し、経済効果は抜群です。助成額の10倍以上の工事が地元中小業者に発注されています。市民と業者から感謝される制度です。



### ■通院・買い物に乗りタクシーの実現

日本共産党日立市委員会が実施した「市民アンケート」には、公共交通の充実を求める切実な要求が書き込まれています。自宅から病院や買い物に行ける乗合タクシー実現にがんばります。

### ■日立市には財源がありません

#### ①ためこみ金は県内第一位の240億円

人件費や住民サービスを削減して、ためこみだ基金は県内一位の240億円と水戸市の約2倍です。4年間に40億円を超える額を増やしました。

市民の暮らしを犠牲にして税金を「ためこむ」のではなく、市民の暮らしを良くするために使うのが当たり前です。

#### ②財政規模は水戸市に次いで第2位の730億円

市の財政（一般会計・2013年度決算）規模は約730億円で水戸市に次いで県内2位です。

## 日立市にないのは

## 財源ではなく、もつとも大事な「福祉の心」です

私の後をついだ日本共産党の元議員は、見事に住民の期待にこたえてきました。満州で終戦を迎えた私には、安倍政権の戦争立法は許せません。

平和を守る願いを、彼に心から託します。

(元市議 小貫雅史・諏訪町)

私は共産党元市議に「東海第二原発の再稼働ストップ・廃炉」の願いを全幅の信頼で託します。

日立市民、子ども・孫のために一層の活躍を期待します。

(「東海第二原発再稼働ストップ 日立市民の会」会員 荒川照明)

私は日本共産党元議員にどうしても議会で働いてほしいと思い、期待して待っていました。

元議員はどんな時でも真剣に話を聞いてくれ、困った事にはすぐ手を打ってくれる頼もしい人です。

(本島智子・久慈町)



募金にご協力ください

# 日本共産党

民報日立

2015年4月号外 発行/日本共産党日立市委員会 日立市石名坂町1525-21 電話0294(53)8501 Fax(53)8502 共産党の見解をお知らせします。

連絡先/日立市久慈町4-10-3 電話0294(33)7846 Fax(33)7847 メールアドレス k-oosone@jcp-net.jp

# 日本共産党が伸びれば市政は変わります

安倍政権の危険な暴走が加速し、毎日のくらしが厳しさを増しています。いまこそ、市政の場で市民の願いに込めてしっかりと働く人が必要です。日本共産党を伸ばして、安倍政権の暴走にストップをかけるとともに、ムダ使いを正し、くらしを守りましょよう。

## 日本共産党はしっかりと取り組みます

### ●安倍政権の暴走ストップ。大企業にもハッキリと物言う

#### ▼海外で戦争する国づくりにストップを

日本共産党は、憲法9条に反する「戦争立法」の法制化の中止と集団的自衛権の「閣議決定」撤回を求めて活動。

また、戦災で日製の工場や市街地の大半を焼失した日立市で、「二度と戦争のない平和な日本を」と、市民団体と力を合わせています。

#### ▼リストラやめよと大企業にも遠慮なく

この間、日立電線や日立化成の大量リストラが相次ぎ、日立市の人口減少の大きな要因にもなっています。日本共産党議員は、ただ一人「市民の雇用を守るためにも、道理のないリストラはやめよと、企業に強く要請すべき」と堂々と議会で市に迫りました。

### 住民の願い 他の議員は

- 介護保険料の引き上げ(2015年3月議会)賛成。
- 消費税の増税は行わないことを求める陳情(2014年3月議会)に反対。
- 新庁舎建設計画の凍結決議に関する陳情(2014年9月議会)に反対。
- 大幅増員で安心・安全の医療、介護を求める陳情(2011年9月議会)に反対。

オール与党で切実な声に背をむける

### ●市政のゆがみを正し、くらし・福祉を守りぬく

#### 市民に冷たい

■国保料軽減の一般会計からの繰り入れ額は、他市の10分の1以下で県北で最低。

■特養老人ホームの萬春園、かねはた老人センターを将来は民間に払い下げする計画。

#### 今の市政は

#### 大型公共事業は推進

■「豪華すぎる」と批判がつよい130億円

の市庁舎建設、新池の川体育館の建設を推進。市長は「今後10年はハード事業が必要」と強調しています。

#### ▼県内で一番、240億円のためこみ金

#### 税金の使い方を切りかえ市民のくらし・福祉を守ります

### ●東海第二原発の再稼働ストップ・廃炉を一貫して主張

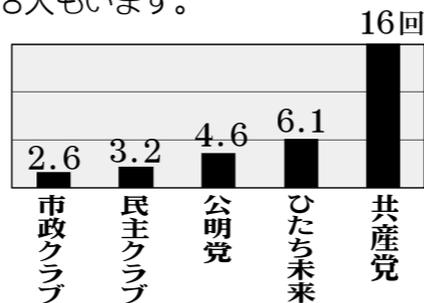
全域が30キロ圏内に入る日立市。アンケートでも68%の市民が再稼働反対・廃炉を望んでいます。ところが市議会は、9回提出された「再稼働ストップ」の陳情・請願をすべて不採択。一貫して採択を主張したのは日本共産党議員ただ一人です。

ぶれない日本共産党の2議席実現こそ、市議会で「再稼働ストップ・廃炉へ」の流れを、さらに大きく広げる力です。



### 他の議員は 発言力

日本共産党は毎回議会で質問。抜群の発言力です。「住民の願い」を市政にとどけることは議員の大事な仕事ですが、4年間、一般質問ゼロの議員が8人もいます。



\*1 議員当たりの質問回数(4年間)

